

# 「未来の学び」創造シート

緑野小学校 6年1・2組

授業者 山岡 恭子（緑野小学校）

田尻 佑樹（緑野小学校）

（株）FPV Robotics との協働授業です。

## 1 題材名

総合的な学習の時間「Drone Impact Challenge Education」

## 2 教科・領域の「ねらい」

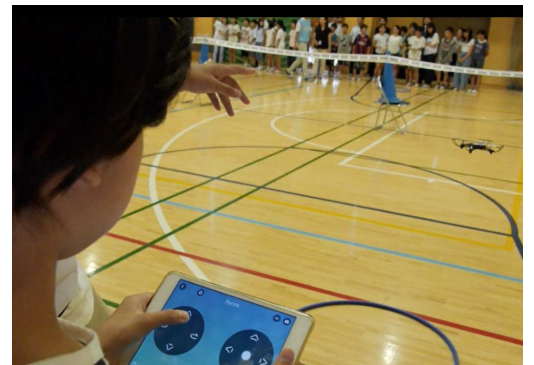
- ドローンが動く仕組みや様々な分野で活用されている現状を理解するとともに、ドローンをこれからの未来社会でどのように活用できるかを考える。
- 課題に対して、解決までの方策を自分なりに考えをもち、友達と話し合い、課題解決を図る。

## 3 キャリア教育の視点からの「ねらい」

基礎的・汎用的能力	ICT・学校図書館 活用型授業	協議型授業	外部人材 活用型授業
人間関係形成 社会形成能力		○	
自己理解 自己管理能力	○		○
課題対応能力	◎	○	○
キャリアプランニング能力		○	○

## 4 授業の概要

外部人材を活用して、ドローンが動く仕組みや現状を理解するとともに、自分たちのこれからの生活でドローンをどのように活用できるのかを考え、ICTや協議を通して課題解決を図ります。現在、様々な分野で活用が期待されているドローン。外部人材を活用しドローンの構造や動かす方法を児童は学び、自分たちで動かすオペレーション体験をしました(第1時)。ドローンを操縦できるようになった児童は、自分たちの生活でドローンをどのように活用できるかを考え、話し合いました(第2時)。



協議の中から次の3つの方向性（目標）が出されました。

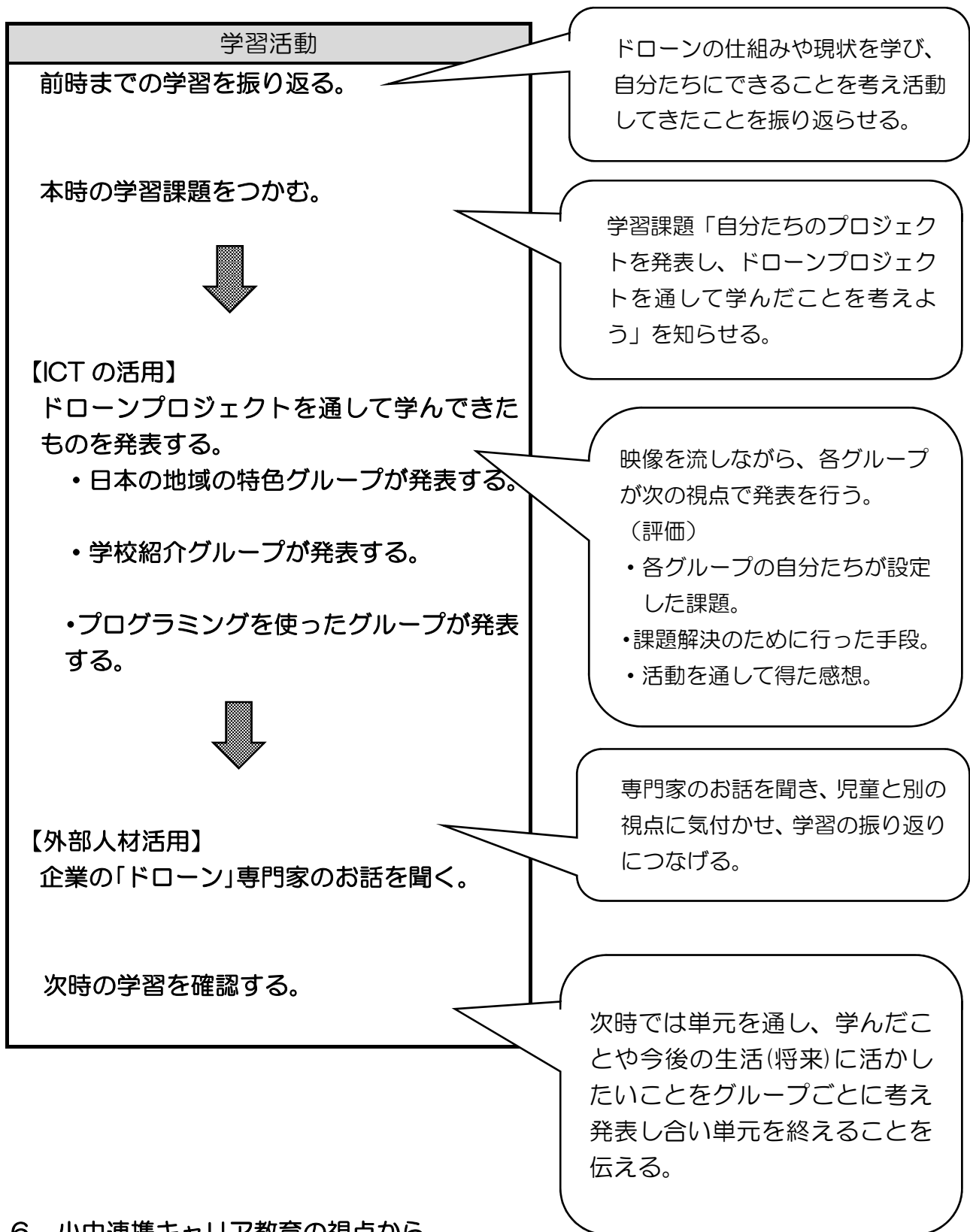
- ① ドローンのカメラ機能を活用し、「学校紹介VTR」を作成する。
- ② ドローンのカメラ機能を活用し、日本の地域の特徴を、地上絵を通して紹介する。
- ③ プログラミングでドローンを自動操縦して、その動きと合わせたダンスを創る。

上記の3つを「ドローンプロジェクト」と名付け、グループごとに協議を重ね（第3～9時）その成果を12月の学習発表会で全校児童、保護者へ向けて発表しました。

本時では、学習のまとめとして、自分たちがグループごとに協議し目標を定め進めてきたプロジェクト（学習過程や成果）を各グループに向けて発表し共有していきます。

次時では単元を通し、学んだことや今後の生活(将来)に活かしたいことをグループごとに考え発表し合い学習をまとめる予定です。

## 5 本時の学習活動



## 6 小中連携キャリア教育の視点から

ドローンを活用したプログラミング学習を通して「論理的思考力」の育成にあたりました。これにより「課題対応能力」を育成して今後の学びを深めていきます。